

まちづくり目標3 活気と安心がひろがり住み続けたいまち

3-1 工夫と連携で産業が躍動するまち(産業・雇用)



【重点施策】

(1)南風原産品を創り伸ばす農業の振興

(2)賑わい・就労を創る商業、製造業、新規産業の振興

(3)南風原らしさを実感できる観光と工芸産業の振興

重点施策

(1)南風原産品を創り伸ばす農業の振興

施策のめざす姿(5年後のあるべき姿)

持続可能で生産性のある農業が実践されています。

現状・課題

現 状	課 題
○施設整備や農地の有効活用、関係機関と連携した研修・指導・就農相談、農業団体の育成など、生産技術の向上や安定した農業経営に向けた支援を行っています。	○遊休農地・耕作放棄地対策、担い手の確保・育成、認定農業者支援、農業経営支援の強化や農作物の高付加価値化が課題となっています。
○農地の持つ多面的機能や農地の可能性を活かし、食農教育や6次産業化による商品展開に取り組んでいます。	○6次産業化の取組が課題となっています。

施策の展開

①農業の生産基盤強化と担い手の確保・育成

農地集約やスマート農業の推進、販路拡大や高付加価値化により生産力の向上を図るとともに、新規就農者や認定農業者への支援、農業青年クラブ等農業団体の活性化、就農支援や農業団体の活性化を通じて担い手の確保を図ります。

②農業資源を活かした地域活性化の推進

多様な主体と連携し、農畜産物を活かした特産品開発や6次産業化を推進するとともに

に、景観形成や環境保全、地産地消、食農教育、観光、イベント、農福連携、農業を通じた交流など、農業・農地の多面的機能を活かした取組を推進します。

重点施策

(2) 賑わい・就労を創る商業、製造業、新規産業の振興

施策のめざす姿(5年後のあるべき姿)

商工業が持続可能な産業として発展し、多様な雇用機会が創出されています

現状・課題

現 状	課 題
○幹線道路沿いに既存の商業・製造業・大型商業施設が立地し、新川地区には医療関連産業などが集積しています。これら産業の振興を図るため、町商工会と連携した相談、育成、制度資金の活用などの支援や創業支援を行っています。 ○「商業、製造業等の既存産業の振興」、「集積している産業を生かした新たな展開」の取組について、重要度が高い一方で満足度が低い結果となっています。(町民アンケート調査)	○地域経済の発展、町民の生活力の向上に向け、本町の産業構造等の特性に合った企業誘致及び企業進出を促進するための施策の展開が求められています。
○雇用機会の提供のため、就労支援の取組を進めています。 ○「町内企業への雇用支援」の取組について、重要度が高い一方で満足度が低い結果となっています。(町民アンケート調査)	○求職者と求人者の有効なマッチングに至っていないケースもあることから、町内の求職者に多様な雇用機会を創出するための求人情報や、関係機関と連携した就労支援情報の提供が求められています。

施策の展開

① 地域産業の高度化と戦略的な企業誘致の推進

本町の産業実態や事業者ニーズを的確に把握し、ICT活用や産官学金等の連携による技術高度化支援、町内事業所の業務拡大等に伴う町内移転支援や受注機会の拡大を図るとともに、医療・健康関連産業や印刷・情報関連産業の新たな展開支援、戦略的な企業誘致に向けた環境整備を推進し、実情に即した産業振興を図ります。

②雇用機会の創出

町商工会と連携し、企業活動と雇用の活性化を図るとともに、雇用の場の創出として新たな産業地の形成を検討します。

重点施策

(3)南風原らしさで実感できる観光と工芸産業の振興

施策のめざす姿(5年後のあるべき姿)

観光の振興が進んでいます。

伝統的工芸品産業の活性化が進んでいます。

現状・課題

現 状	課 題
○町観光協会等と連携し、かすりの道ツアー等の観光ツアーを開催し観光プログラムの充実に取り組んでいます。 ○「観光振興」の取組について、重要度が高い一方で満足度が低い結果となっています。(町民アンケート調査)	○地域資源を活用した観光ツアーの充実や観光拠点施設の活用が求められています。
○本町は県内で唯一の海に面していない市町村であり、観光地としての認知度は低い状況にあります。	○観光地としての認知度向上に向けて、観光資源の発掘及びSNS等を活用した情報発信の充実を図り、本町の魅力を発信する必要があります。
○本町は、本部・喜屋武・照屋地区を中心に、町の伝統的工芸品産業である琉球絣・南風原花織の県内有数の産地となっています。商品開発や販路開拓、後継者育成、体験学習、SNS等の活用などの支援を進めており、従業者数は増加傾向にあります。 ○「伝統的工芸品産業の振興」の取組について、重要度が高い一方で満足度が低い結果となっています。(町民アンケート調査)	○伝統的工芸品産業は、地域の歴史・文化的資産として重要であり、町をあげての取組が求められていますが、永続的に維持するには産業としての自立が課題となります。
○琉球絣会館やかすりの道を活用した観光メニューなど、観光関連産業と連携した取組が行われています。	○他産業等との連携による新たな展開を図ることで、伝統的工芸品産業の活性化が求められています。

施策の展開

①着地型観光プログラムの充実

町民や各種関連団体との協働により、多様な分野がリンクした着地型観光プログラムの充実により、町全体の魅力向上を推進します。

②観光情報の発信強化と魅力向上

各種イベントの開催や本町のイメージキャラクターなどの観光資源を活用し、本町の魅力向上を図るとともに、SNS等を中心に町ホームページや動画配信サービスなど多様な媒体を活用し、町内外へ向けた観光情報の発信を強化します。

③伝統的工芸品産業の継承と振興

織物技術の継承とブランドの維持を図るとともに、商品開発や販路開拓、イベントや体験学習、ホームページやSNS等を活用した情報発信による認知度向上を図ります。また、後継者育成や体験等を通じた多様な人材確保を推進します。

④伝統工芸と観光の連携による産業活性化

琉球絣や南風原花織と観光関連産業や異業種・他産地との連携による観光プログラムや商品開発を推進し、伝統的工芸品産業の活性化を図ります。

5年後(令和13年度)の目標値

指 標 名	現状値		目標値 (令和13年度)
	(令和2年度)	(令和7年度)	
農業の担い手育成に関する取組の満足度	46.1%※	55.7%※	65.3%※
農業経営の強化に関する取組の満足度	62.2%※	61.4%※	63.0%※
従業者数(経済センサス活動調査)	14,829人 (平成28年)	15,709人 (令和3年)	16,589人 (令和8年)
雇用支援に関する取組の満足度	11.3%	33.1%	54.9%
観光振興に関する取組の満足度	15.5%	37.2%	58.9%
伝統的工芸品産業振興に関する取組の満足度	27.6%	36.1%	44.6%

※アンケート調査にて「わからない」及び無回答を除いた回答者数を分母として算出した値

個別計画

- 1 ○南風原農業振興地域整備計画書
- 2 ○農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想
- 3 ○南風原町導入促進基本計画
- 4 ○南風原町創業支援事業計画
- 5 ○南風原町観光振興計画
- 6

本町の各種計画一覧
へのアクセスはこちら→

